

水土里のみちウォーキング in 仁井田 walk

ウォーキングを通じて仁井田、四ツ小屋地区の美しい田園風景や心と水辺空間など有形、無形の資源や農業用水路の役割の大切さや農業水利施設の維持管理の大変さを再発見するとともに、さらに、それらに対する認識を深めてもらった。

昨年の悪天候とは変わって、晴天のもと14kmコースと6kmコースの2コースで、ウォーキングをしながらの用水路や田園風景、各土地改良施設を見学してもらうことを目的として開催しました。

14km、6kmと同時にスタートし、例年どおりのコースを参加者からは思い思いに楽しんでいただいた。昨年の雷雨による中止から学んだ事を活かした準備や大会運営となり、運営に協力していただいたスタッフのみなさん、すべての皆様に感謝しています。

土地改良区役職員、県ウォーキング協会、県（農地整備課、秋田地域振興局）、市（農地森林整備課、教育委員会）、水土里ネット秋田が一体となって計画、会場準備、大会運営を行った。昨年に引き続きメディアを使ったPR活動として後援をいただいた地元エフエム局へ出演し広告活動を行った。また、新たな後援団体として市内の体育館や福祉施設を運営する秋田市勤労者福祉振興会からも協力していただいたほか、今年も農業共済組合からの記念品の提供とスタート・ゴール地点となった秋田県中央地区老人福祉総合エリアからもテーブルや椅子などの備品やトイレ施設等の使用も協力していただいた。大会終了後は次回への反省点などを協議するスタッフ反省会を開催して、第10回大会運営について話し合われました。



活動体制	
実施主体	水土里ネット仁井田堰（仁井田堰土地改良区）
後援・連携	県ウォーキング協会、秋田県、秋田市、市教育委員会 J A新あきた、秋田中央農業共済組合、水土里ネット秋田支部、水土里ネット秋田、エフエム樺台 秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会、秋田県サイクリング協会、秋田市勤労者福祉振興会
実施期間	平成23年6月19日
参加者	一般参加者236人、スタッフ74人 計310人
報道関連	水土里ネット秋田会報誌、共済組合新聞ほか
活動実施年数	9年
連絡先	〒010-1421 秋田市仁井田本町4丁目5-20 仁井田堰土地改良区 TEL018-839-2504
その他	県奨励賞（H16）、東北地方大賞奨励賞（H16・H20）、県知事賞（H19）、 秋田県秋田地域振興局元気なふるさとづくり賞（H19）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット仁井田堰（伊藤 清栄）

○活動の目標及び達成率	目標 子どもからお年寄りまでの大会参加 達成率 80%				
○活動に対する評価	・今年は地域の行事と重なったせいか、子どもの参加率が例年より下がってしまい、残念でした。次回は地域の子どもたちにもっと参加してもらえるよう考えたいです。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	A	関係機関やNPO等のホームページを積極的に活用したほか地元新聞広告やエフエム局でも宣伝活動を行った
①役職員・組合員の参加	A	役職員全員がスタッフとして参加している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	A	周辺土地改良区若手職員からもスタッフとして参加してもらっている	①他組織との連携構築	A	異業種である後援団体等からも継続的に支援をいただいている
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	A	昨年の中止で今年の開催を心配する声を、多くの地域の方からいただいた
①基本理念の設定	A	第1回目から変わらぬテーマで取り組んでいる	③施設管理・地域資源の保全強化	B	地区内の農地・水関係組織がコースの草刈りやテント設営などに協力を得ることで、地域資源の保全や地域住民のコミュニケーションの場の提供等も貢献している
②地域の歴史等の伝承	A	コース内に神社などを設定している	④運動の地域づくりへの関わり	B	
③運動の先駆性	B	特に安全面に重視した運営とポップコーンの無償提供、野菜の直売などでリーダーが増えるよう心がけている	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	E	地元農家による野菜の直売を通じて、安心安全な農業への理解を得ている
①運動の継続性	A	毎回、アンケートをとり次回運営に反映させている	5. 今後の課題等について		・年々、受益面積が減少し経費節減が言われるなかで、関係機関の協力のもと大会を続けてきましたが、今後は母体となる改良区職員の削減なども加わり、継続的な大会運営は困難を極めるものと思われることから、別の形式で運動を検討していく必要がある。
②運動の発展・拡大	A	今回も新たな後援団体が増えるなど目頃から拡大に努めている			
③運動の計画性	A	実行委員会を組織して、定期的な打ち合わせと大会終了後の反省会を毎回行っている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他